

令和3年度 西遊基金 事業経費要求書

部局等名	留学生教育・支援センター	担当学科等名	留学支援課	主たる担当者	尾下徳彦
要求事項	留学生支援事業			要求額 (千円)	3,000
要求理由	<p>本学においてはこれまで、外国人留学生後援会により、本学で勉学する外国人留学生に対し物心両面にわたる援助を行うとともに、友好・親善を深めることを目的とした各種事業への経費を援助し、外国人留学生の日本での勉学生活を支援してきた。</p> <p>平成30年10月に外国人留学生後援会は西遊基金と統合されたが、留学生支援事業を継続し、引き続き外国人留学生へ物心両面の支援を行うことにより、本学の国際交流を推進するため、事業経費を要求するものである。</p> <p>なお、要求額の積算については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、令和元年度の実績を参考とした。</p>				
要求額内訳	項目	金額(千円)	内訳(千円)		
	(1)各種保険加入事業	1,850	留学生住宅総合補償加入負担金 1,300 学生総合保険加入費 550		
	(2)交流補助事業	500	長崎平和大学 100 外国人留学生交流の集い 100 国際学生交流会(春・秋) 200 その他補助 100		
	(3)地域交流事業	100	地域交流団体への活動費補助 100		
	(4)広報活動事業	50	事業広報のためのパンフレット等作成 50		
	(5)予備費	500	留学生の事件・事故、家賃滞納、 宿舎修繕等に対する突発的な支出 500		
その他					

注) ①予算執行状況一覧(様式任意)を必ず添付すること。

②必ず見積書等の金額が確認できる書類を添付すること。

令和3年度 事業計画（案）

事 項	予算額	摘 要
1. 留学生支援事業	3,000,000円	
(1) 各種保険加入事業	1,850,000円	
留学生住宅総合補償加入負担金	1,300,000円	民間宿舎に入居する留学生に対する留学生住宅総合補償加入補助
学生総合保険加入費	550,000円	国際交流会館，国際学寮ホルテンシアに入居する留学生に対する個人・借家人賠償責任保険加入補助
(2) 交流補助事業	500,000円	
長崎平和大学	100,000円	長崎平和大学バスハイク参加料，傷害保険加入料補助
外国人留学生交流の集い	100,000円	毎年12月に留学生，会員，教職員との懇親会に対する一部補助
国際学生交流会	200,000円	毎年2回（4月と9月）に新入留学生と日本人学生等との交流会の一部補助
その他	100,000円	Japanese Café，料理交流会等の一部補助
(3) 地域交流事業	100,000円	
西町国際クラブ	100,000円	西町国際クラブ等への活動補助，その他地域交流事業補助
(4) 広報活動事業	50,000円	
留学支援関連の広報費	50,000円	留学支援関連の広報・ニュース等
(5) その他	500,000円	
予備費	500,000円	留学生の死去に伴う費用，その他家賃滞納，修繕費等立替
2. 田添グローバル交流推進基金奨学金	1,500,000円	
日本人学生の留学費用の一部補助	1,500,000円	採用者1人あたりの支給上限額は10万円 年間の支給予算総額は150万円程度
3. 「葉 國璽」私費外国人留学生奨学金	8,400,000円	
私費外国人留学生への経済的補助	8,400,000円	採択枠は14人とし，採用者1人あたり月額5万円を1年間支給

令和2年度西遊基金収支決算書
(令和2年4月1日～令和3年1月31日)

1. 収入の部

事 項	予 算	決 算	差引増減額	摘 要
西遊基金	3,000,000円	3,000,000円	0円	
返戻金	0円	11,910円	11,910円	留学生住宅総合補償返戻金
その他	0円	0円	0円	
合 計	3,000,000円	3,011,910円	11,910円	

2. 支出の部

事 項	予 算	決 算	差引増減額	摘 要
(1) 各種保険加入事業	1,850,000円	658,000円	1,192,000円	
(内訳)				
①留学生住宅総合補償加入負担金	1,300,000円	658,000円	642,000円	民間宿舎に入居する留学生に対する留学生住宅総合補償加入補助 (年度末は民間入居者多数)
②学生総合保険加入費	550,000円	0円	550,000円	国際交流会館A・B棟, 国際学寮ホルテンシアに対する個人・借家人賠償責任保険加入補助 (予定517,780円)
(2) 交流補助事業	500,000円	0円	500,000円	長崎平和大学バスハイク参加料・保険料, 国際学生交流会・外国人留学生交流の集い補助, Japanese Café・料理交流会材料費
(3) 地域交流事業	100,000円	0円	100,000円	西町国際クラブへの活動補助 (予定50,000円)
(4) 広報活動補助事業	50,000円	0円	50,000円	(今年度は予定なし)
(5) 予備費	500,000円	0円	500,000円	(今年度は予定なし)
合 計	3,000,000円	658,000円	2,342,000円	

() は今年度中の予定

令和 3 年度 西遊基金 事業経費要求書

部 局 等 名	留学生教育・支援センター	担当学 科等名	留学支援課	主たる 担当者	尾下徳彦
要 求 事 項	田添グローバル交流推進基金奨学金			要 求 額 (千円)	1,500
要 求 理 由	<p>田添勝次氏からの寄付金を原資とした本奨学金は、本学の国際交流を積極的に推進するため、本学に在籍する日本人学生が海外に留学する際に、留学に係る費用の一部を奨学金として支援することにより、長崎大学ブランドのグローバル人材の育成に資するものである。</p> <p>本奨学金の給付を受けることができる者は、本学に在籍したまま本学が実施する単位取得を伴う派遣プログラム等により派遣される日本人学生で、「長崎グローバル＋コース」履修(修了)学生、又は学業成績が優秀で人物等に優れている者で、かつ、所定の成績水準を満たす者としている。</p> <p>平成29年度から開始された本奨学金制度により、留学費用の一部を支援し、学生の海外研修等の機会を充実・拡大させることで、中期目標・中期計画の日本人学生に占める留学経験者数の目標値達成にも大きく寄与している。</p> <p>なお、令和元年度末からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、渡航自体が制限されている状況ではあるが、次年度においては、渡航の制限が緩和されることを前提に、所要の予算を要求するものである。</p>				
要 求 額 内 訳	項 目	金 額(千円)	内 訳(千円)		
		1,500	1人100千円×15人=1,500千円		
	採用者1人あたりの支給上限額は10万円とし、年間の支給予算総額は150万円程度とするもの。				
そ の 他	<p>これまでの実績</p> <p>平成29年度:12人(145万円)</p> <p>平成30年度:12人(82万円)</p> <p>令和元年度:17人(118万円)</p> <p>令和2年度:新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実績なし</p>				

注) ①予算執行状況一覧(様式任意)を必ず添付すること。

②必ず見積書等の金額が確認できる書類を添付すること。

令和3年度 西遊基金 事業経費要求書

部局等名	留学生教育・支援センター	担当学科等名	留学支援課	主たる担当者	尾下徳彦
要求事項	「葉 國璽」私費外国人留学生奨学金			要求額 (千円)	8,400
要求理由	<p>葉 國璽氏からの寄付金を原資とした本奨学金は、本学に在籍する私費外国人留学生への教育研究助成を目的としたものである。</p> <p>本奨学金の給付を受けることができる者は、本学大学院、医学部医学科、多文化社会学部又は情報データ科学部に在籍する留学生及び研究生で、次の資格をすべて満たす者としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学業、人物ともに優れ経済的理由により修学又は研究が困難な者 ○所属研究科長等の推薦のある者 ○申請者に配偶者がいる場合は、当該配偶者に一定以上の収入がない者 ○本学の基本目標に関連する領域について、学習又は研究する者 <p>平成21年度から開始された本奨学金制度により、これまでに114人の留学生への支援が行われており、留学生の勉学生活の安定を図ることを通じ、優秀な人材を確保するとともに、国際交流の推進に貢献していることが窺える。また、中期目標・中期計画の「全学生に占める外国人留学生数の割合」の目標値達成にも寄与していることから、次年度においても引き続き、所要の予算を要求するものである。</p>				
要求額内訳	項目	金額(千円)	内訳(千円)		
		8,400	14人×1人50千円×12月=8,400千円		
その他	<p>これまでの実績</p> <p>平成21年度:10人(600万円), 平成27年度: 8人(480万円)</p> <p>平成22年度:10人(600万円), 平成28年度:10人(600万円)</p> <p>平成23年度:10人(600万円), 平成29年度:10人(600万円)</p> <p>平成24年度: 6人(360万円), 平成30年度:10人(600万円)</p> <p>平成25年度: 8人(480万円), 令和元年度:11人(630万円)</p> <p>平成26年度: 9人(540万円), 令和2年度:12人(720万円)</p>				

注) ①予算執行状況一覧(様式任意)を必ず添付すること。

②必ず見積書等の金額が確認できる書類を添付すること。

令和 3 年度 西遊基金 事業経費要求書

部 局 等 名	学生支援部学生支援課	担当学 科等名		主たる 担当者	田中宏智
要 求 事 項	プラネタリーヘルスに繋がる取り組み実現のための支援			要 求 額 (千円)	1,000 千円
要 求 理 由	<p>長崎大学は「地球の健康に貢献する大学」(プラネタリーヘルス)とのスローガンを掲げ、総合大学としての多様な知の融合、多面的な知の連鎖をもって、新しい知の創造に取り組んでいる。</p> <p>このプラネタリーヘルスに繋がる取り組みとして、令和 2 年度に政策企画室が中心となってアイデアの募集を行った「プラネタリーヘルスアイデアコンテスト」に応募した学生(チーム)の中から、そのアイデアを実現させるための支援を行う。</p> <p>(取組募集件数) 予算の範囲内で2~3件</p>				
要 求 額 内 訳	項 目	金 額	内 訳		
		1,000 千円	採択された学生団体等の活動費		
そ の 他					

注) ①予算執行状況一覧(様式任意)を必ず添付すること。

②必ず見積書等の金額が確認できる書類を添付すること。



プラネタリーヘルスアイデアコンテスト応募要項

プラネタリーヘルス推進本部

(問合せ先: turusaki@nagasaki-u.ac.jp (津留崎))

わたしたちが暮らすこの地球は、環境問題、国際紛争、感染症、人口減少、経済格差等、挙げればキリがないほどの問題を抱えています。これらの地球規模の問題、すなわち地球の不健康は、残念ながらわたしたちヒトが作り出したものがほとんどです。

今なら、地球の健康はヒトの力で、科学の力で取り戻せるのではないのでしょうか。わたしたち長崎大学は「地球の健康に貢献する大学」とのスローガンを掲げ、総合大学としての多様な知の融合、多面的な知の連鎖をもって、新しい知の創造に取り組んでいます。

今回、学生のみなさんからプラネタリーヘルス(以下、プラヘル)に繋がる取り組みなどのアイデアを広く募集します。学生・教職員すべての大学人として取り組むべきアイデアやサークル・友人などで行う課外活動、プラヘルに繋がるソーシャルビジネスや事業アイデア、チームメンバー所属学部の知見を横断的に展開したアイデア、などなど、みなさんからのオリジナリティ溢れるアイデアを期待しています。既に実行している取り組みでも、まだ実行していないアイデアレベルの取り組みでも構いません。ただし、未実行のアイデアでも、実行・実現に向けた工夫がなされていると高く評価されるでしょう。

プラヘルについては、<https://www.planetaryhealthalliance.org/planetary-health> や <http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/planetaryhealth/index.html> も参考になるかもしれませんので、是非参照してみてください。

■応募資格

- ・長崎大学、大学院に在籍する学生で、複数の学部、研究科からなる複数人のチーム(2~10名)にて
- ・後述するプレゼンテーション日程に必ず参加できるもの(プレゼンに参加できる人数は1チーム3名を上限とします。3名を超えるチームは事前に選抜しておいて下さい。)

■応募内容

プラネタリーヘルスに資する取り組みや事業のアイデア

■応募方法

- ・下記の google フォームにて応募申し込み(QR コード参照)
<https://forms.gle/EiWjPnyBKaLrTrdKA>
- ・下記メールアドレスまで、プレゼンテーション用パワーポイント(ないし PDF) スライドファイルを添付にて送付(スライドの 1 枚目は表紙とし「タイトル」「メンバー全員の氏名」を明記してください)
turusaki@nagasaki-u.ac.jp (津留崎)
- ・スライド内のどこかに「プラヘルロゴ」(URL 参照)を必ず使用して下さい(<http://jimuhp.jimu.nagasaki-u.ac.jp/kouhou/planetaryhealth/index.html>)



■応募締切

- ・令和 3 年 3 月 12 日(金)17 時(厳守)
- ・google フォームによる応募フォームとメールによるスライドファイルの両方の提出となることに注意

■審査

- ・下記の日程でプレゼンテーションを行なってもらいます
日時:令和 3 年 3 月 18 日(木)13:00-15:30
場所:文教キャンパス(会場は追ってチーム代表者へ連絡します)
 - ・1 チームあたりのプレゼンテーション時間は 15 分
 - ・学内、学外から選定された審査員により「プラネタリーヘルスへの貢献度」「視点の新規性」「他者の巻き込みなどの波及性」などを中心に総合的に審査
- ※コロナ状況によりオンライン開催へ変更の可能性あり

■表彰

- ・優れた応募アイデアに対して、表彰(賞状、賞金)します

■注意事項

- ・応募アイデアや入賞者の学部、氏名等は公表することがあります

■主催、共催

【主催】プラネタリーヘルス推進本部

【共催】グローバル連携機構

みらい創造センター

FFG アントレプレナーシップセンター

令和3年度 西遊基金 事業経費要求書

部局等名	学生支援部学生支援課	担当学 科等名		主たる 担当者	田中宏智
要求事項	福德グループ奨学金(一般、チャレンジ)			要求額 (千円)	1,920千円
要求理由	グローバル化やAI化が進む社会で、未来社会をつくる原動力たらしめる強い意志を持った人財、逆境に怯むことなく解決策を見出そうとする強い意志を持った人財、常に社会におけるファーストペンギンたらしめる強い意志を持った人財の育成に資することを目的として学生に本奨学金を支給する。				
要求額内訳	項目	金額	内訳		
		1,920千円	【一般奨学金】 年額 36 万円×2 名=72 万円 【チャレンジ奨学金】 1 回 60 万円×2 名=120 万円		
その他	4年度以降は、3年度からの寄附金300万円の残額を順次繰り越しながら運営していく予定(別表参照)。				

- 注) ①予算執行状況一覧(様式任意)を必ず添付すること。
 ②必ず見積書等の金額が確認できる書類を添付すること。

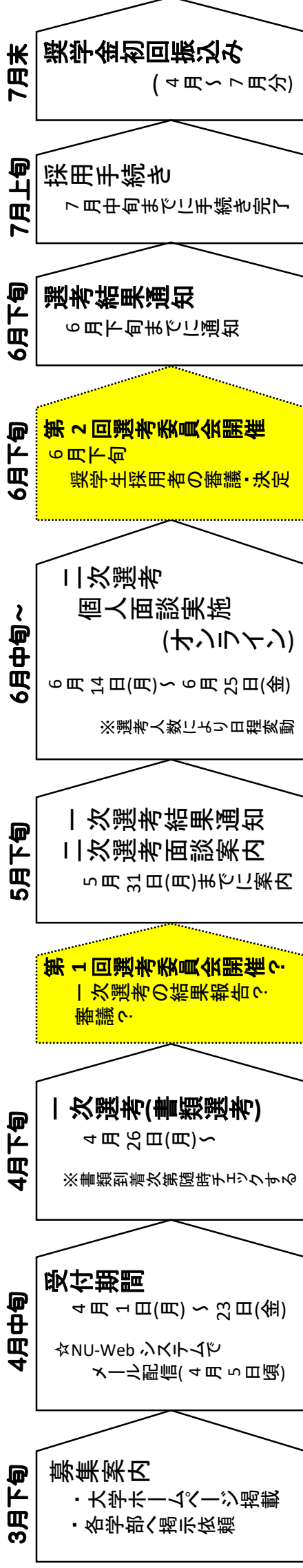
基金収支見通し

(単位:円)

	前年度繰入額	寄付受入額	一般奨学金	残額	チャレンジ奨学金	残額	その他	残額(次年度繰入)
0年度	0	3,000,000					3,000,000	0
		2020.11受入					留学生受入費用	
1年度	0	3,000,000	720,000	2,280,000	1,200,000	1,080,000	0	1,080,000
		2021.3受入	36万円×2名		60万円×2名			
2年度	1,080,000	3,000,000	1,440,000	2,640,000	1,200,000	1,440,000	0	1,440,000
		2022.3受入	36万円×4名		60万円×2名			
3年度	1,440,000	3,000,000	2,160,000	2,280,000	1,200,000	1,080,000	0	1,080,000
		2023.3受入	36万円×6名		60万円×2名			
4年度	1,080,000	3,000,000	2,880,000	1,200,000	1,200,000	0	0	0
		2024.3受入	36万円×8名		60万円×2名			
5年度	0	3,000,000	2,880,000	120,000	4年間の支給を勘案して決める		0	0
		2025.3受入	36万円×8名		●●万円×2名			

福德グループ奨学金スケジュール

【一般奨学金・チャレンジ奨学金】



※第1クォーターテスト期間：6/7(月)～6/11(金)
(この期間は除く)

<検討事項>

- 提出書類は誰がどこまで目を通すか。
選考委員10人が全ての書類に目を通す場合、所要時間、書類の受け渡し方法の検討が必要。
個人情報報の観点から紙媒体での受け渡しは避けたい。できればオンラインストレージで、パスワードを付けて共有。
- 提出書類の住民票、所得証明書なども全てに目を通すのか。
福島会長には書類全てに目を通していただき、他の選考委員には「申請書だけ」などボリュームを減らしてもよいのでは？
ここでも個人情報報の取り扱いが気になる。

令和3年度 西遊基金 事業経費要求書

部局等名	学生支援部学生支援課	担当学科等名		主たる担当者	田中 宏智
要求事項	生協クーポンの新設			要求額 (千円)	10,556千円
要求理由	<p>コロナ禍による影響で困窮している本学の学生(非課税の日本人学生及び留学生)に対し、食費や教材費に充てる費用の支援を行うため。 具体的には、該当学生に対して、生協で使用できる学生証支援金チャージを行う。</p>				
要求額内訳	項目	金額	内訳		
	支援金	10,556千円	<p>【非課税の日本人学生】 学生 167名 × 1回 500円 × 3か月(4月～6月 91日) =7,598,500円 ※修学支援事業基金による支援</p> <p>【留学生】 学生 65名 × 1回 500円 × 3か月(4月～6月 91日) =2,957,500円 ※大学運営支援事業基金による支援</p>		
その他					

注) ①予算執行状況一覧(様式任意)を必ず添付すること。

②必ず見積書等の金額が確認できる書類を添付すること。

R3.西遊基金 生協食費等支援事業

◎目的：コロナ禍による影響で困窮している本学の学生（非課税の日本人学生及び留学生）に対し、食費や教材費に充てる費用の支援を行うため、生協で使用できるように学生証への支援金チャージを行う。

◎対象：R2年度「学びの継続のための学生支援緊急給付金（第1回～第4回）」に申請した、R3.4月在籍の以下①、②の学生

①日本人学生（住民税非課税者のみ）167名

②留学生65名

計232名

◎予算：

（大学負担）学生232名×1回400円×3か月（4月～6月：91日分）=8,444,800円

（生協負担）学生232名×1回100円×3か月（4月～6月：91日分）=2,111,200円

（合計）10,556,000円

◎スケジュール：

- ・ 4月2日 学籍情報確定
- ↓
- ・ 4月6日 対象者確定
- ↓
- ・ 4月9日 生協へ対象者データ提出（氏名、学籍番号、学部学科、生年月日が必要）
- ↓
- （一週間程度）
- ↓
- ・ 生協より該当学生へのチャージ可、不可の連絡を頂く
- ・ チャージ可の学生へはそのままチャージしてもらう
- ・ 学生への案内文を作成
- ↓
- ・ 4月20日 学生へお知らせ（対象者のみへメール発信）
- ↓
- ・ 5月中旬 生協へ支払い（請求書による支払い？財務と要相談）
- ↓
- ・ 5月末頃 学生の受け取り数（チャージしたかどうか）確認を生協へ依頼
- ↓
- ・ 5月末頃 まだ受け取っていない学生へリマインドメール
- ↓
- ・ 3月上旬 西遊基金へ実績報告書提出

◎生協より留意事項

※生協の組合員でないと、学生証へのチャージができないため、組合員でない学生には、申込手続きをして、組合員になってもらう必要がある。
（出資金が必要だが、特別に一口500円程度で設定頂き、45,500円の支援額より天引く）

※チャージの上限は59,999円（6万円未満）のため、カードに入らない金額はデータ上にプールされる。プールされている金額はカードのチャージ上限までであれば何度でも補充可能であり、また残金についても使用期限はない。

※学生への案内の際には、生協と大学の共同出資によることを明記